



栄小学校だより

令和6年3月25日(月) No.49

○令和5年度修了式と離任式

3月25日(月), 栄小学校体育館にて, 令和5年度修了式・離任式を行いました。修了式では, 校長から「4月に進級・入学したみなさんは, この1年間で, 全校児童全員で勉強したり, 遊んだりして, 『成長』できました。自分でこの1年間でふりかえり, 良かった所, 悪かった所を思い出してみましょう。4月に進級した時に楽しい学校生活が送れるように春休みにがんばっていきましょう。」「4月からはひとつ上のお兄さん, お姉さんになります。常に成長できるように『心・頭・からだ』を鍛え, 努力をしてください。」などの話をしました。

その後, 表彰式・生活指導からの話を行い, 最後は離任式として, 令和5年度で栄小学校を異動となる先生方を発表し, 各先生より別れのお話をさせていただきました。なお, 保護者・地域の皆様には4月に「異動・転任の挨拶」にてお知らせいたします。

明日から4月7日までの短い春休みですが, 時間を有意義に使ってほしいと思います。今後も教職員全体で, 栄小学校の子どもたちが何事にも努力をして, 「徳・知・体」がバランスよく成長できるように指導し続けたいと思います。

保護者・地域・ボランティアの皆様, 令和5年度を無事に修了することができました。この1年間, 栄小学校教育活動に推進にご理解・ご協力をいただき, 誠にありがとうございました。引き続き, 令和6年度もよろしくお願いいたします。



○模型の寄付をしていただきました。

3月21日(木)に地域の方(匿名)から「艦の模型」を寄贈していただきました。江戸時代幕末に幕府が所有していた「咸臨丸(かんりんまる)」です。

この艦は幕府の艦として, 1860年日米通商条約使節団をのせ, サンフランシスコへ行きました。船長には, 勝海舟, 搭乗者には福沢諭吉らもいた, 歴史的機帆船です。

栄小学校の玄関に飾ってあります。



【令和6年度 4月当初の予定】

4月 8日(月) 始業式・着任式 2～5年：10時45分下校
6年：11時35分下校(入学式準備)
4月 9日(火) 入学式 2～6年：3限授業・11時35分下校
4月10日(水) 2～6年：給食開始5限授業・14時45分下校
1年：給食なし・11時40分下校

☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.18

○春休みは新学年に向けて意識を変えよう！

春休みは1つの学年が終わる区切りです。学校の授業内容は学年が上がるにつれて難しくなり、1日の平均勉強時間も少しずつ増えていきます。

新しい学年における勉強に向けて、春休み中は少しずつ意識を変えていけると良いでしょう。「勉強時間をこれまでよりも、少し長く取ってみる」「今までよりも勉強に集中できる環境を整えてみる」「スケジュールを決めて勉強をして、学習習慣を身につける」などです。

春休みにやるべきことに個人差はありますが、大切なことは予習よりも復習に重点を置くこと。春休みは1年間勉強したことを復習する、絶好のチャンスです。これまでに勉強したことをざっと振り返り、わからなかった箇所や理解不十分なところをピックアップして、重点的に勉強しましょう。新そうすることで学年進級後の勉強でつまずきにくくなります。

春休み中の勉強で、親が気を付けるべきポイント！

○つまずいている原因を分析する

子どもが勉強でつまずいている場合、子ども自身でつまずきの原因を分析するのは難しい面があります。わからない状態をそのまま放置しておくとう学力はアップせず、また勉強へのモチベーションも大きく下がってしまうでしょう。

つまずきが見られた場合は親がテストや問題集のミスをさかのぼって振り返り、原因を分析してください。何が原因となってつまずいているのか、どうすれば先に進めるのかを分析し、子どもと一緒に改善をしていきましょう。

○適切な距離で学習内容を確認する

学年を問わず、勉強のすべてを子どもに任せてしまうのは危険です。子どもによっては学習計画や学習内容、モチベーションを一人で上手くコントロールできず、任せきりにしてしまうと思ったような学習成果は出ません。

低学年の子どもや学習習慣が身につけていない子ども、学力に不安がある子どもの場合は親が積極的に関与します。親がやるべきことを示したり、できたことを褒めたりしながら、無理なく勉強を続けられるようになるはずですよ。

反対に高学年の子どもや学習習慣が身につけている子ども、学力が安定している子どもの場合は付きっきりにならず、少し離れた距離から見守ってください。ただし放置ではありません。勉強が終わった後や食事中に勉強内容を尋ねて、しっかりと勉強が進んでいるかどうかをチェックします。困ったことがあれば、その都度フォローをしてください。

○親が積極的に褒める

子どもにとって親から褒められることは、何よりもうれしいことです。勉強への大きなモチベーションとなります。ささいなことでも構わないので、親は子どもの勉強に関することを積極的に褒めてあげましょう。

「今日は1時間も勉強してすごいね」「間違えずに計算できるようになったね」「間違ったところがあったけれど、きちんと確認してえらいね」など、ポジティブな声かけをどんどんしてください。

大人の努力で伸ばそう！ 無限にひろがる 子どもたちの力！